
V 令和4年度予算の重点投資（主な最重点施策）

「横須賀再興プラン（横須賀市実施計画 2022－2025）」に位置づけた新規・拡充事業を中心に主な事業を掲載しています。

表示方法の詳しい説明はP.53の【凡例】を参照してください。

1 地域で支え合う福祉のまちの再興

（1）誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり

①（拡）相談体制の充実 17,186千円

【地域支援部（市民部）田浦行政センター、衣笠行政センター、浦賀行政センター
久里浜行政センター、北下浦行政センター、西行政センター】

地域で様々な困りごとを抱える高齢者などがいつでも相談できるよう、行政センターでの相談体制の構築を進めます。

令和4年度は新たに衣笠行政センターおよび北下浦行政センターに開設し、課題解決へ向けた継続的なサポートを行います。

（拡）○ 行政センターに常設の地域生活相談窓口を開設

4カ所 → 6カ所

②（新）生活保護世帯の高校生に対する学習支援 2,299千円

【福祉子ども部（福祉部）生活福祉課】

高校生活の継続を支え、卒業後の進学や就業を支援するため、生活保護世帯の高校生へ学習支援の場を提供します。あわせて、学校・家庭以外で日常生活の相談を行える場としても活用します。

③（新）虐待被害で避難している大学生などの支援 2,830千円

【子ども家庭支援センター児童相談課】

現在の生活保護制度では対象とならない大学生などが虐待被害等で避難し生活困窮に陥り、自立援助ホームへ入所した場合に学生生活が継続できるよう、「よかった ありがとう。」基金を活用した横須賀市独自の制度を創設して生活費を助成します。

○ 児童自立生活援助・大学等在学者支援補助金の創設

④ (拡) 地域介護施設の整備などに対する支援 828,177 千円

【福祉子ども部福祉施設課 (福祉部介護保険課)】

住み慣れた地域での生活を支える地域介護施設の整備などに対して助成します。

(拡) ○ 通常の換気が困難な居室への換気設備の設置 (補助率 10/10)

上限: 該当する居室の延床面積 (㎡) あたり 4,000 円

(拡) ○ 水害対策のための整備 (補助率 3/4)

⑤ (拡) 成年後見制度利用の支援 11,208 千円

【福祉子ども部 (福祉部) 地域福祉課、障害福祉課、健康部保健所保健予防課】

資力がない方が成年後見制度を活用できるよう、後見人等へ支払う報酬について助成します。

(拡) ○ 助成対象を市長申立事件限定から、家庭裁判所からの推薦依頼による法定後見事件まで拡大

(2) 人生 100 年時代に向けた健康づくり

① (新) 後期高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 710 千円

【健康部健康管理支援課、健康増進課 (福祉部健康長寿課)】

健康寿命の延伸や社会保障費の適正化を図るため、新たに後期高齢者を対象に疾病予防や重症化予防の取り組みを開始します。また、これまで行っていた介護予防の取り組みも合わせて、健診データも活用しながら一体的に実施します。

○ 保健師・管理栄養士による相談やアウトリーチ

・ 栄養・口腔・服薬などの相談

・ 健診未受診者への働きかけ

* アウトリーチ

支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し、市役所から積極的に働きかけること

② (拡) うわまち病院の移転と新市立病院の開設 1,405,376 千円

【健康部市立病院課、建設部道路整備課（土木部道路建設課）】

市立うわまち病院の老朽化に伴い、久里浜地域に新たな市立病院を建設します。（令和7年3月開院予定）

また、移転後のうわまち病院の跡地については、今後の幅広い活用を見据え、上町坂本線の拡幅工事を行い、交通安全を確保します。

(拡) ○ 病院の本体工事

(拡) ○ 道路用地の取得

③ (拡) 新規人工透析患者数の抑制を目指した取り組み 715 千円

【健康部健康管理支援課（福祉部健康長寿課）】

新たに腎専門医や特定健診実施機関と市が課題を共有する場を設け、CKD病診連携システムの充実を図ります。これにより、重症化を予防して人工透析患者の抑制につなげます。

*** CKD病診連携システム**

腎症重症化予防と人工透析導入抑制を目的とし、腎機能低下が疑われる特定健診受診者を早期に腎臓専門医への受診に結び付け、腎臓専門医とかかりつけ医が連携して診療する仕組み

④ (拡) 特定保健指導実施率向上のための取り組み 18,617 千円

【健康部健康管理支援課（福祉部健康長寿課）】

国民健康保険加入者への特定保健指導の利用勧奨をさらに強化して、特定保健指導の実施率を向上させ、生活習慣病などの予防を図ります。

(拡) ○ はがき送付、休日・夜間帯の架電

⑤ (拡) 介護予防普及啓発事業 8,717 千円

【健康部健康増進課（福祉部健康長寿課）】

健康寿命の延伸を目指し、入門的な介護予防教室の開催や、介護予防に関する知識の普及・啓発を行います。また、介護予防活動が継続できるよう新しくアプリを用いたフレイル予防教室を開催します。

*** フレイル**

筋力、認知機能、社会とのつながりなどの心身の活力が低下した状態

(3) 地域の支え合いに対する支援

① (拡) 地域の支え合いの基盤づくり 71,609千円

【福祉こども部福祉総務課（福祉部地域福祉課）】

おおむね行政センター区域ごとに生活支援コーディネーターを配置し、人と人、人と場所をつなげるとともに、地域の困りごとや地域活動による好事例について共有する地域支え合い協議会を設け、地域住民や企業など、多様な主体が連携・参画する支え合いの基盤づくりを支援します。

(拡) ○ 地域支え合い協議会の設置・運営

市内7地区 → 市内全域 (16地区)

(拡) ○ 生活支援コーディネーターの充実

市内10地区 → 市内全域 (12地区)

② (新) 町内会などの地域活動への支援 154千円

【地域支援部（市民部）地域コミュニティ支援課】

町内会・自治会が抱える課題を解決するため、青年会議所や大学、民間企業などと連携し、地域とともに活動したい意欲のある企業や学生と町内会・自治会をマッチングして地域活動を支援する「コミュニティコンダクター」の登録制度を創設し、地域活動を支援します。

(4) 新しいつながりによるコミュニティの活性化

① (拡) 小学校を拠点とした地域コミュニティの再生・創出 913千円

【地域支援部（市民部）地域コミュニティ支援課】

小学校を地域コミュニティの拠点とする「スクールコミュニティ」の取り組みを進め、子どもから高齢者まで様々な世代の交流を促進し、地域の結びつきの強化を図ります。

○ モデル校での事業継続と定着に向けた仕組みの構築

(拡) ○ 他校への事業展開の推進

スクールコミュニティ取り組み校 3校→5校

② (拡) 谷戸の魅力を生かしたコミュニティづくり 20,000 千円

【文化スポーツ観光部観光課、都市部まちなみ景観課】

谷戸に多彩な才能を持った方を誘致し、新たなつながりを生み出します。

これまでのアーティスト村 (HIRAKU) での取り組みに加え、逸見地区の上下水道局の旧待機用宿舎を活用し、クリエイターなどの移住を促進します。今後、学生との交流や市内イベントへの参加などを通じて、地域コミュニティの活性化につなげていきます。

(拡) ○ クリエーターなどのための居住スペースの整備

3戸 → 6戸

(5) 安全・安心のまちづくり

① (新) 犯罪被害者等への支援 4,243 千円

【地域支援部(市民部)地域安全課】

犯罪被害に遭われた方々ができるだけ早く日常生活を取り戻せるよう、各種支援を行います。

また、周知啓発活動を通じ、二次被害を生じさせない社会の実現を目指します。

- 総合支援窓口の設置
- 見舞金の支給
- 法律相談の支援
- カウンセリング支援 など

② (拡) 北消防署追浜出張所の移転 70,316 千円

【消防局総務課】

建物が老朽化している北消防署追浜出張所を現在の夏島町自転車等保管所に移転します。

(新) ○ 地質調査・設計

- ・スケジュール

令和4年度 地質調査・設計

令和5年度 設計・工事

令和6年度 工事

令和7年度 移転

③ (拡) 災害時の市役所施設の機能確保 10,000 千円

【総務部総務課】

災害時でも最低限の行政活動が維持できるように、市役所の非常用発電設備などを改修します。令和4年度は、本庁舎に適した浸水対策を行うための基本計画を策定します。

(新) ○ 基本計画策定業務

④ (拡) 消防団員の処遇改善 7,439 千円

【消防局総務課】

近年、減少傾向にある消防団員を確保するため、消防団員の年額報酬および出動時の費用弁償などを増額するとともに、団員間の連絡を支援するアプリを導入し、消防団員の処遇改善を図ります。

(拡) ○ 報酬および費用弁償の増額

(新) ○ アプリの導入 (4月～試験運用)

⑤ (拡) 西海岸の高潮対策 19,112 千円

【建設部港湾整備課 (みなと振興部水産振興課)】

台風時に越波・浸水の被害が度々生じている佐島地区の高潮対策工事をを行います。

(拡) ○ 海岸保全施設の基本・実施設計

⑥（新）防災DXによる災害対応力強化と早期避難の促進 56,245千円

【市長室（市民部）危機管理課】

防災対策において最も重要な市民の命を守るため、ICTを活用して災害現場の情報を早期に収集し迅速な災害対応を可能にします。また、ネットワーク技術を用いて現場映像を市民に公開することで、早期の避難を促すとともに自分の身は自分で守るという意識づくりにもつなげます。

- 冠水や越波などの水害に被災した地点への定点カメラの設置
- 災害現場用ウェアラブルカメラの導入
- 気象状況に左右されにくい高機能ドローンの導入

⑦（拡）下水道の浸水対策 145,830千円

【上下水道局下水道管渠課】

道路の冠水や家屋の浸水を防ぐため、大雨発生時に被害が多発している本町地区などの雨水排水施設の整備に向けた準備を進めます。

- 雨水管築造工事（逸見地区）
- 実施設計（本町地区）
- マンホール取り付け型水位計の設置 など

2 子育て・教育環境の再興（整備・充実）

（1）子育て世帯の経済的な負担の軽減

①（拡）多子世帯の保育料無償化の拡大 106,528 千円

（事業費は歳出の増と歳入の減の合計額）

【福祉こども部子育て支援課（こども育成部保育課、幼保児童施設課）】

多子世帯の子育て全般の経済的負担を軽減するため、市独自の保育料無償化を実施します。

- 保育施設を利用する0歳から2歳の多子世帯の減免範囲の拡充
（小学校就学前の兄姉から数え、第2子を半額、第3子以降を無償
→兄姉の年齢にかかわらず、第2子を半額、第3子以降を無償）

②（拡）放課後児童クラブの利用料引き下げ 212,867 千円

【福祉こども部子育て支援課（こども育成部こども育成総務課）】

国庫補助制度を最大限活用することで放課後児童クラブへの助成を拡充し、平均利用料の引き下げを目指します。

- （新）○ 運營業務の人件費等補助（上限年額 144.3 万円）
- （拡）○ 家賃補助の拡充
 - ・ 上限月額 140,000 円 → 上限月額 255,500 円
- （拡）○ 放課後児童支援員等の賃金改善
 - ・ 月額 1 万円／人 → 1 クラブ当たり 上限年額 167.8 万円
- （新）○ 放課後児童支援員等の常勤職員の賃金改善（上限年額 315.8 万円）
- （新）○ 児童を送迎した場合の補助（上限年額 50.7 万円）

③（拡）養育費確保支援の拡充 3,367 千円

【こども家庭支援センターこども給付課（こども育成部こども青少年給付課）】

ひとり親世帯の子どもの健やかな成長のために、養育費を確保するための支援を拡充し、養育費にかかる啓発活動を推進します。

- （新）○ 養育費オンライン相談事業の実施（年間 32 回）
 - （拡）○ 弁護士相談事業の実施（年間 15 回 → 20 回）
 - うち、国際離婚に特化した弁護士相談（年間 3 回 → 4 回）
 - （新）○ 裁判所への強制執行申し立て費用を助成（上限 23,000 円）
-

(2) 子育て世帯が働きやすい環境づくり

① (拡) こども園の整備 41,084 千円

【福祉こども部子育て支援課 (こども育成部こども育成総務課)】

- 中央こども園 (幼保連携型認定こども園 令和4年4月開園)
 - ・ 子育て支援機能 (愛らんど、一時預かり、ファミリー・サポート・センター、病児・病後児保育センター) を併設

(拡) ○ (仮称) 南こども園 (幼保連携型認定こども園)

- ・ 森崎保育園とハイランド保育園を統合
- ・ スケジュール

令和4年度～令和5年度 設計

令和6年度～令和7年度 建築工事

令和8年度 開園

② (拡) 待機児童ゼロに向けた保育定員の拡充 6,952,077 千円

【福祉こども部子育て支援課 (こども育成部幼保児童施設課)】

幼保連携型認定こども園へ移行するための建て替え工事などにかかる経費の一部を助成します。

保育定員の拡充を図り、待機児童の解消を目指します。

(拡) ○ 利用定員：2号認定・3号認定 4,702 人 → 4,763 人

(拡) ・ 家庭的保育事業所の新規設置 2 事業所

(拡) ・ 認定こども園の設置 3 施設

(拡) ・ 分園の新規設置 1 施設

(拡) ・ 保育所などの定員増 6 施設

(拡) ○ 認定こども園に移行する施設への助成 2 施設

* 2号認定：満3歳以上の保育を必要とする就学前児童

* 3号認定：満3歳未満の保育を必要とする就学前児童

③ (拡) 一時預かりサービスを活用した待機児童の預け先の拡充 0 千円

【福祉子ども部子育て支援課 (こども育成部保育課)】

一時預かりサービスの定員余裕分を活用し、待機児童が認可保育施設に入園できるまでの間、認可保育園所と同程度の保育料での保育を提供します。

○ 利用料金

世帯所得に応じて、月額 0 円～61,500 円 (認可保育所と同額程度)

○ 利用日数

制限なし

○ 実施施設

- ・ 公立津久井保育園
- ・ ウェルシティー一時預保育室、すくすくかん一時預保育室

④ (拡) 保育現場で働く職員の環境改善 16,320 千円

【福祉子ども部子育て支援課 (こども育成部幼保児童施設課)】

保育所などで働く経験年数 7 年以上の保育士に加えて、栄養士および調理員にも月額 4 万円の処遇改善を実施します。

⑤ (拡) 病気・病気回復期の子どもの預け先の拡大 17,176 千円

令和 3 年度補正予算 : 300 千円

【福祉子ども部子育て支援課 (こども育成部幼保児童施設課)】

令和 4 年 4 月から、うわまち病院病児・病後児保育センターに加え、新たに中央こども園病児・病後児保育センターを開設します。

⑥ (拡) 放課後の居場所づくり 95,932 千円

【福祉こども部子育て支援課 (こども育成部こども育成総務課)】

全ての児童を対象とした「放課後子ども教室」を全ての小学校に整備し、放課後の居場所を確保します。

就労などにより保護者が昼間にいない小学生に対し、授業の終了後の適切な遊び、生活の場を提供します。

また、放課後児童クラブが使用するため、小学校1校の教室を改修します。

(拡) ○ 放課後子ども教室の拡充

- ・ 小学校5校 → 小学校26校

(拡) ○ 民設民営の放課後児童クラブの拡充

- ・ 73団体 → 77団体

(拡) ○ 放課後児童クラブ設置のための教室改修

- ・ 小学校1校

⑦ (拡) ICTを活用した新たな教育施設への支援 25,081 千円

(放課後の居場所づくり再掲 16,081 千円)

【文化スポーツ観光部観光課、

福祉こども部子育て支援課 (こども育成部こども育成総務課)】

令和4年4月にオープン予定の民間事業者が運営する次世代型の教育施設を支援します。タブレットを活用しICTスキル向上を図る学童保育サービスのほか、隣接するICT拠点では、現役世代のテレワークやeスポーツ教室、シニア向けのパソコン教室などでも利用できる複合施設となる予定です。

⑧ (拡) 私立幼稚園などへの障害児等教育費助成の拡充 2,511 千円

【福祉こども部子育て支援課 (こども育成部幼児児童施設課)】

私立幼稚園などが配慮の必要な児童を受け入れるにあたり、必要な経費を新たに助成します。

(拡) ○ 障害児の教育に要する経費の一部を助成

- ・ 対象児童に配慮が必要な児童 (療育プログラム対象者等) を追加
- ・ 助成額 : 園児一人当たり 月額 52,300 円

⑨ (新) 医療的ケア児およびその家族に対する支援 8,430 千円

【福祉子ども部子育て支援課 (こども育成部保育課)】

公立保育園などおよび民間保育園などにおいて医療的ケアを必要とする児童の受け入れ体制を整備します。

- 公立保育園など 看護師 (会計年度任用職員) を配置
- 民間保育園など 看護師雇用にかかる人件費を補助

⑩ (拡) 教育・保育人材研修などへの助成の拡充 4,108 千円

【福祉子ども部子育て支援課 (こども育成部保育課)】

教育・保育人材の確保および質の向上を図るため、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市と共同で就職相談会や研修などを実施します。また市独自で行う助成を拡充します。

- (新) ○ 横須賀市保育会の研修などへの助成

⑪ (新) 多様な集団活動事業利用者への支援 960 千円

令和3年度補正予算 : 960 千円

【福祉子ども部子育て支援課 (こども育成部保育課)】

満3歳以上の幼児が、多様な集団活動事業を利用した際の保育料の一部を助成します。

- 補助額 月額 20,000 円 (上限額)

***多様な集団活動**

認可幼稚園に該当しない幼稚園の類似施設などのこと

⑫ (新) 公立保育園、公立認定こども園のICT推進 0 千円

令和3年度補正予算 : 11,592 千円

【福祉子ども部子育て支援課 (こども育成部保育課)】

午睡時の事故を防ぐため、乳児の状態をモニターできるセンサーを活用したシステムを公立保育園および認定こども園で0歳から1歳児を対象に導入します。

また、保護者との連絡や登降園管理、記録の作成などの効率化をするため、ICTを活用したシステムを導入します。

(3) 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援・社会的養育支援

① (拡) 愛らんどの拡充 32,749 千円

【福祉こども部子育て支援課 (こども育成部保育課)】

身近な場所で子育ての相談や、同じ子育て世帯の方と交流できる「愛らんど」を拡充します。

(新) ○ 役所屋追浜店の跡地を活用し「愛らんど追浜」を拡張

② (新) 児童養護施設などを退所した方の支援 3,270 千円

【こども家庭支援センター児童相談課】

18歳を迎えて、施設や里親・ファミリーホームを退所した後も自立に向けた必要な支援を行い、生活上の様々な相談に対応します。

○ 自立支援コーディネーターの配置

③ (拡) 支援する児童などに対する自治体間の連携強化 16,093 千円

【こども家庭支援センターこども家庭支援課】

支援する児童などの情報を一元管理するシステムを導入し、自治体間の情報連携も速やかに行うことで、児童虐待の防止を強化し、支援・保護が必要な児童や妊婦、こどもの家庭の支援を推進します。

④ (拡) 3歳児健康診査に視覚検査を導入 6,504 千円

【健康部健康管理支援課 (こども育成部こども健康課)】

3歳児健診にスポットビジョンスクリーナー (屈折検査機器) を導入し、弱視などの早期発見、早期治療を実現します。

⑤ (拡) HPVワクチン(子宮頸がん予防)の個別勧奨を再開 139,547千円

【健康部保健所企画課(こども育成部こども健康課)】

令和4年4月から子宮頸がん予防のため、HPVワクチンの個別勧奨を再開し、定期接種の対象者のほか、これまで接種機会を逃した世代へも予防接種の機会を提供します。

- 定期接種対象者 平成18年度から平成21年度に生まれた女子
- 接種機会を逃した世代 平成9年度から平成17年度に生まれた女子

* HPV

ヒトパピローマウイルス

(4) 学力向上・学習環境の充実

① (新) 小学校35人以下学級の先行実施 32,899千円

【教育委員会教育指導課】

国の施策より1年早く、市立小学校の第4学年に対して、35人以下学級によるきめ細かな指導を実現させます。

② (拡) GIGAスクールのさらなる推進 319,201千円

令和3年度補正予算: 25,965千円

【教育委員会教育研究所】

小中学校の児童生徒に1人1台配置された端末を積極的に活用して、効果的な学習を行います。

- 1人1台端末が安定して活用できる環境の確保
- (拡) ○ 各学校の状況に応じたICT環境の整備
- (拡) ○ ICT支援員の配置

③ (新) 学習意欲の喚起 1,829千円

【教育委員会教育指導課】

高い目標を持ち、主体的に学習に取り組む生徒への支援を強化します。

- 中学生に対する各種検定試験(漢字・数学・英語検定)の準2級以上の検定料を助成

④ (新) 日本語指導が必要な児童生徒への支援 3,284 千円

【教育委員会支援教育課】

日本語指導が必要な児童生徒がすぐに学校に馴染むことができるよう支援するとともに、教員の負担軽減を図るため、就学時ガイダンスや日本語初期集中指導、外国語による教育相談窓口機能を持つ、支援教育ステーションを諏訪幼稚園跡地に整備します。(令和5年4月開所予定)

⑤ (拡) 読書活動の推進 9,189 千円

【教育委員会教育指導課】

未配置の中学校へ学校司書を配置し、生徒の読書活動のさらなる推進と学校図書館の機能向上を図ります。

(拡) ○ 学校司書の配置 8校 → 23校(全校)

⑥ (拡) 中学校部活動の支援 342 千円

【教育委員会保健体育課】

教員の多忙化や、経験の少ない顧問が多いといった課題がある中学校の運動部活動について、部活動技術指導者を配置し、指導力向上と教員の負担軽減を図ります。

(拡) ○ 部活動技術指導者 43人 → 46人

⑦ (拡) 食育の推進 488 千円

【教育委員会学校食育課】

子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校における食育を推進します。また、保護者などの食育に関する意識の向上を図ります。

(新) ○ 学校給食センターでの食育講座(20回)

⑧ (新) 地域と取り組む学校運営 17,764 千円

【教育委員会教育指導課】

未来の地域づくりを担う子どもを育成するため、学校と地域が学校運営に関する課題や教育目標を共有し、協議する「学校運営協議会」を市立学校に設置します。

⑨ (新) 防災教育の実施 1,948 千円

【教育委員会教育指導課】

学校防災に係る活動を充実させ、「防災対応能力」の基礎を培うなど、児童生徒の求められる資質・能力を育成します。

- 実践検証校（小学校2校、中学校1校）
- 教職員に対する防災研修（年2回）

⑩ (拡) スクールソーシャルワーカーの増員 4,808 千円

【教育委員会支援教育課】

不登校や家庭内の問題等の悩みを抱える児童生徒、保護者に対し、より適切な支援を行うため、スクールソーシャルワーカーを増員します。

- (拡) ○ スクールソーシャルワーカー配置数
年40日×6人 → 年80日×5人

⑪ (拡) 海洋人材の育成に向けた高度な海洋教育 615 千円

【経営企画部都市戦略課】

三方を海に囲まれている本市として、海洋人材の育成を目指して横須賀海洋クラブを実施しています。これまでの小学生、中学生に加え、高校生も対象とすることで、すそ野の拡大から関心の高い層に対する学びの場の提供まで、継続的な教育環境を整えます。

- (拡) ○ 小学生から高校生までもを対象とした海洋教育（海洋クラブ）の実施

(5) 新たな視点での社会教育施設の整備・活用

① (新) ICタグによる図書館の利便性向上 146,120 千円

【教育委員会中央図書館】

セルフ貸出機などを導入することにより利用者の利便性の向上を図ります。

- ICタグによる貸出手続きの迅速化
- セルフ貸出機・返却機・予約本受取棚の導入（中央・南・北）

② (拡) 美術館の集客力の向上 93,251 千円

【文化スポーツ観光部（教育委員会）美術館運営課】

多くの方がアートに触れ、美術館に親しんでいただく機会を増やすため、市長部局へ移管します。

新たな分野にもチャレンジし、より魅力的な展覧会を展開します。

- (新) ○ 運慶仏像などの国指定重要文化財を含む企画展の開催
- (新) ○ 野村萬斎氏らによる能楽の上演
- (拡) ○ 多言語（日英）表記の推進（解説数 60 点→120 点）
 - ・アプリのポケット学芸員を活用した日英表記による所蔵品の解説

3 経済・産業の再興

(1) 物流拠点としての地位向上

① (新) 新港地区のさらなる整備・活用 12,200 千円

【建設部港湾企画課（みなと振興部港湾整備課）】

横須賀港のポテンシャルを活かすため、新港地区で埋立てを伴う岸壁などの整備内容を検討し、取扱貨物量の増加など、港の活性化を図ります。

- 岸壁等整備計画にかかる調査・検討

② (拡) 港の活用推進 324,576 千円

【建設部（みなと振興部）港湾企画課、港湾整備課、

（経済部企業誘致・工業振興課）】

新港ふ頭と久里浜ふ頭の改修を行い、港のさらなる活性化を図ります。また、ポートセールスによる集荷や定期航路の誘致を進めます。

- (新) ○ 新港地区ふ頭（上屋取壊設計、保安（ソーラス）施設設計）
- (拡) ○ 久里浜地区保安（ソーラス）施設整備工事
- (新) ○ 港湾利活用補助金の創設（補助率 1/2 上限額 500 万円）
 - 物流企業などを対象とする展示会への出展

***ソーラス施設**

国際条約に基づき、外航船が利用する港で必要となるフェンスなどの保安対策施設

③ (拡) 民官連携の推進 5,000 千円

【経営企画部企画調整課】

民官連携担当セクションを設け、民間事業者への情報提供、庁内への情報共有などをワンストップで行う体制を整え、民官連携の取り組みを強く推進します。

- 民官連携推進プラットフォームHP制作・管理
- 民官連携市場調査など

(2) 企業の新たな立地・持続的発展への支援

① 企業の新たな立地・持続的発展への支援 140,277 千円

【経済部企業誘致・工業振興課、上下水道局給排水課】

雇用機会の拡大や市内経済への波及効果が見込まれる企業等の誘致に積極的に取り組みます。

- 企業の立地や設備投資に対する税の優遇措置および成長分野への奨励金の交付
- 水道利用加入金の免除

(3) 事業承継・人材確保への支援

① 事業承継の円滑化 6,457 千円

【経済部経済企画課】

事業承継に関する相談受付やセミナーによる啓発、承継手続きにかかる経費の助成など事業承継の円滑化を図ります。

② (拡) 人材の確保 7,830 千円

【経済部経済企画課】

中小企業などの人材を確保するため、副業やデジタル化など、時代に合った手段で企業の人材確保を支援します。

- (拡) ○ 求人情報サイト「ごきんじょぶ」へのオンライン面接機能の導入
- (新) ○ 副業人材活用セミナーの開催および補助金創設

③ (拡) 雇用の促進 9,963 千円

【経済部経済企画課】

市内での雇用を促進するため、求職者と市内企業とのマッチングの機会を提供します。

- (拡) ○ 大学生などを対象にしたオンライン合同企業就職説明会の導入

(4) 時代に合わせた働き方や新たなチャレンジに対する支援

① (拡) テレワーク環境の整備 4,000 千円

【経済部経済企画課】

テレワークのニーズは今後も高まると予測されるため、民間のテレワーク拠点やサテライトオフィスの整備費用を助成します。

(新)○ YRPへのサテライトオフィス設置費用の助成(補助率 1/2 上限額 100 万円)

② (拡) 生産性向上の支援 18,339 千円

【経済部経済企画課】

市内中小企業等のICT、IoT活用による経営の効率化や越境EC活用による販路拡大などを支援します

(新)○ 商工会議所と連携して市内企業の越境EC活用を支援

*越境EC

インターネットを活用して日本国内から海外へ向けて商品を販売するEC
(電子商取引)

③ (拡) 新たなチャレンジに対する支援 15,809 千円

【経済部創業・新産業支援課】

創業や新事業展開など、新しくチャレンジする方をセミナーや助成を通して支援します。

(新)○ 創業とDXセミナーの開催

(拡)○ スタートアップオーディションの開催

・優れたビジネスプランに対する奨励金(上限額 100 万円 → 200 万円)

(5) 魅力あふれる農水産業の振興

① (拡) よこすか野菜の魅力発信 4,578 千円

【経済部農水産業振興課（農業振興課）】

メディアを通じた情報発信やPRイベントの実施により、よこすか野菜の知名度の向上・魅力の発信に取り組みます。

(拡) ○ よこすか野菜のPR・販売促進

- ・首都圏における直売会などの販売機会の拡大

(新) ○ 市内生産者のプロフィールシートによるメディア向け情報発信

(6) 都市基盤の整備

① 中心市街地などの再開発促進 228,177千円

【経営企画部まちづくり政策課、文化スポーツ観光部商業振興課、
上下水道局給排水課、教育委員会中央図書館】

中心市街地や拠点市街地の活性化、防災性の向上、都市機能の更新のため市街地再開発事業の支援を行います。

また、これらの事業がまち全体の賑わい創出に繋がるよう、中心市街地等のまちづくり検討を行うとともに、特別減税等の経済支援策を併せて講じながら、まちの再興を目指します。

- 市街地再開発事業に関する支援（8地区）
 - ・ 追浜駅前第2街区、若松町1丁目地区、三笠ビル地区、
若松町2丁目地区、横須賀中央駅前地区、大滝町1丁目地区、
若松町1丁目北地区、久里浜第1地区
- まちづくり検討
 - 横須賀中央駅周辺
 - 久里浜駅周辺
- 新たな図書館の整備を含めた追浜地区の活性化に向けた検討
- 中心市街地等の再開発や建て替え事業の促進
 - 特別減税
 - 商業等集積奨励金
 - ホテル誘致等奨励金
 - 水道利用加入金の免除

② 国道357号および追浜夏島線の整備促進 189千円

【経営企画部まちづくり政策課】

国道357号の八景島・夏島間の早期開通と夏島以南の延伸区間の都市計画決定を目指し、国などの関係機関との連携を図ります。

また、国道357号の八景島・夏島間開通後の交通量の変化に伴い、国道16号追浜駅前交差点までの追浜・夏島間の交通流を改善するため、道路拡幅整備に必要な手続きを進めます。

③ (拡) 浦賀行政センターの利便性向上 17,870 千円

【地域支援部 (市民部) 浦賀行政センター】

浦賀行政センターの駐車場整備や隣接する市道の安全対策を目的とした歩行スペースの確保に向け、浦賀警察署跡地の取得を目指します。

○ 浦賀警察署跡地の取得に向けた関係機関との調整

(新) ○ 浦賀警察署解体工事設計、事前家屋調査

④ 西地区の活性化 168,343 千円

令和3年度補正予算：644,618 千円

【建設部 (環境政策部) 公園建設課】

長井海の手公園 (ソレイユの丘) の隣接地を活用し、官民連携 (Park-PFI 等) により既存施設の改修に加えて、公園全体のリニューアルを行い、交流拠点機能の拡充に向けて、グランピング施設やカフェレストラン等を整備します。
(令和5年4月 リニューアルオープン)

⑤ (新) VR技術を活用した3Dマップの作成 6,262 千円

【都市部都市計画課】

拠点となる市街地の地図を、VR (ヴァーチャルリアリティ) 技術を活用した3Dマップで作成し、まちづくりを行う際の議論の活発化や、迅速な合意形成に役立てます。

○ 横須賀中央駅周辺および追浜駅周辺のVR作成

4 歴史や文化、スポーツを生かしたにぎわいの再興

(1) ルートミュージアムのさらなる強化

① (拡) ティボディエ邸と周辺施設の連携 41,634 千円

【文化スポーツ観光部企画課、文化振興課】

ルートミュージアムの拠点であるティボディエ邸を中心にヴェルニー公園全体を面として盛り上げることで集客を図ります。さらに周辺の施設とも連携して、市内周遊を促進します。

- ティボディエ邸の管理・運営
- (拡) ○ 展示および案内の充実
- (新) ○ 小冊子、お土産の制作・販売
- (拡) ○ 市民向けサテライトツアーの実施
- (新) ○ にぎわいづくりのためのイベントの開催
 - ・ 来館者 10 万人達成セレモニー
 - ・ 市内高校吹奏楽部による園庭でのミニコンサート
 - ・ ハロウィンイベント
 - ・ ウィンターイルミネーション
 - ・ フランスフェア
- ヴェルニー公園内レストランのオープンに向けた調整
- ポートマーケットのリニューアルオープンに向けた調整

② (拡) 浦賀地区の活性化 49,283 千円

【経営企画部企画調整課、文化スポーツ観光部企画課、商業振興課、観光課、

建設部（みなと振興部）港湾整備課、教育委員会生涯学習課】

ルートミュージアムのサテライト施設として位置づけられた、世界最大級の希少な施設である浦賀レンガドックを、新たな観光拠点として活用していきます。護岸補修など適切な保存を行うとともに、官民による浦賀レンガドックを活用したイベントなどで知名度を高め、近隣の千代ヶ崎砲台跡などと併せて集客を図ります。

- (新) ○ 浦賀レンガドック事業評価・アドバイザー
- (新) ○ 浦賀レンガドック利活用イベントの実施
- (新) ○ ドック周辺地区の現地測量

-
- (新) ○ 3D測量調査
 - (新) ○ 歴史的評価の検討会の開催
 - 史跡東京湾要塞跡の保存と活用
 - ・ 保存のための調査
 - ・ 千代ヶ崎砲台跡の土・日曜日、祝日の公開
 - (新) ○ 浦賀地域の地域資源を活用した商店街事業補助金
(補助率 1/2 ソフト事業 上限 200 万円)
 - (新) ○ 浦賀を中心としたプロモーションの実施

③ (拡) 猿島公園の整備 136,236 千円

【建設部（環境政策部）公園建設課】

猿島公園の来園者数増に伴い生じているトイレ不足を解消するため、トイレ新設工事を行います。また、土砂崩れによる崩落箇所への復旧に向けて方法を検討します。

- トイレ新設工事
- (新) ○ 崩落箇所（日蓮洞窟・春日社跡）現況測量

④ (拡) 公園のさらなる利活用 10,000 千円

【文化スポーツ観光部企画課、建設部（環境政策部）公園管理課、公園建設課】

ルートミュージアムのさらなる魅力向上のため、民間のノウハウや音楽などの力を活用しながら、新たな公園の利活用を進めます。

- (拡) ○ 三笠公園の活用検討調査委託
- (拡) ○ 走水水源地公園へのキッチンカーの誘致
- (新) ○ 音楽を活用した平和中央公園のPR

⑤ (拡) 個性ある商店街への支援 2,000 千円

【文化スポーツ観光部商業振興課】

個性ある観光資源を持つ商店街が行う、その魅力を生かし更に魅力を高めるための整備などを支援します。

- (新) ○ 商店街観光資源整備事業補助金
 - ・ 整備計画策定費などの一部を助成（補助率 4/5 上限 100 万円）

⑥【再掲】（拡）美術館の集客力の向上 93,251 千円

【文化スポーツ観光部（教育委員会）美術館運営課】

多くの方がアートに触れ、美術館に親しんでいただく機会を増やすため、市長部局へ移管します。

新たな分野にもチャレンジし、より魅力的な展覧会を展開します。

（新）○ 運慶仏像などの国指定重要文化財を含む企画展の開催

（新）○ 野村萬斎氏らによる能楽の上演

（拡）○ 多言語（日英）表記の推進（解説数 60 点→120 点）

・アプリのポケット学芸員を活用した日英表記による所蔵品の解説

（２）周遊と消費の促進

①（新）交通手段の仕掛けづくり 20,052 千円

【文化スポーツ観光部観光課】

点在するルートミュージアムの各サテライト施設などをより効率的に周遊できるように、交通事業者などからアイデアやノウハウを生かした取り組みを募集し、効果的な提案には事業費の一部を助成します。

また、企業版ふるさと納税を活用した助成額の上乗せも併せて行います。

○ 補助率 1/2 上限 500 万円

②（新）宿泊者などの増加に向けた取り組み 500 千円

【文化スポーツ観光部観光課】

ホテルなどへの宿泊者の増加や、団体ツアーなど大人数の誘客を図るため、宿泊事業者や旅行事業者などと連携した取り組みについて検討します。

○ 宿泊事業者、旅行事業者などとの検討会の開催

③ (拡) 集客プロモーションの推進 73,220 千円

【文化スポーツ観光部観光課】

横須賀集客促進・魅力発信実行委員会（京浜急行電鉄株、横須賀商工会議所、（一社）横須賀市観光協会、横須賀市）において関係機関の協力により横須賀への集客を促進し、交流人口の増加、地域活性化および都市魅力の創出を推進することを目的とする観光施策などを実施します。

(拡) ○ ルートミュージアムの周遊促進

(拡) ・ ICT活用による周遊促進

収集データの分析、施策への活用

- サブカルチャーを活用した新しい客層の取り込み
 - ・ アニメやゲームと市の魅力を組み合わせた集客企画の実施
- インバウンド事業の推進
 - ・ 多言語観光情報サイトや facebook を活用した情報発信
- メディアや SNS を活用した観光情報の発信

(3) 音楽やダンス、エンターテイメントによるにぎわいの創出

① (拡) 音楽によるにぎわいづくり 7,317 千円

【文化スポーツ観光部企画課】

横須賀の街なかをステージとした音楽ライブの場を創出し、日常が音楽にあふれたワクワクする街づくりの実現を目指します。

(拡) ○ ヨコスカ街なかミュージックの推進

(拡) ・ ヨコスカ街なかピアノの増設（3台→4台）

・ 街なかをステージとした音楽ライブ

② 「猿島アートプロジェクト」の開催 26,575 千円

【文化スポーツ観光部企画課】

東京湾唯一の自然島・猿島を舞台としたアートイベントを、民間事業者と連携して実施します。

③ (拡) ダンスによるにぎわいづくり 16,700 千円

【文化スポーツ観光部企画課】

ストリートダンス大会の誘致など、躍動するダンスでまちを盛り上げます。

(拡) ○ 「ダンスプロジェクト」の推進

- (新) ・ダンス大会及び高校生選手権の誘致・開催
- (新) ・屋外でのダンスパフォーマンス
- (新) ・ダンス練習場所の整備
 - ・中高生のダンス発表の場の提供

④ (新) 大河ドラマの活用 49,503 千円

【文化スポーツ観光部企画課、文化振興課、商業振興課、観光課、

(教育委員会) 美術館運営課、地域支援部(市民部)衣笠行政センター】

今年のNHK大河ドラマの放映を機に、三浦一族の歴史で縁のある衣笠地区ほかへの集客が増えるように、商店街などの取り組みを支援します。

また、美術館における運慶展や能楽の上演のほか、周遊企画を行うことで、地域を盛り上げていきます。

- 大河ドラマを契機とした魅力発信
- 横須賀美術館企画展「運慶 鎌倉幕府と三浦一族展」の開催
- 横須賀美術館能楽の実施
- 大河ドラマを契機とした周遊企画の実施
- 衣笠観光協会における大河ドラマを契機とした取り組みに対する助成
- 衣笠地域の歴史を活用した商店街事業補助
(補助率 1/2 ソフト事業 上限 200 万円 ハード事業 上限 1,000 万円)
- 三浦一族案内MAPの作成など

⑤ (拡) 海上自衛隊「国際観艦式」との連携 4,200 千円

【市長室国際交流・基地政策課、文化スポーツ観光部観光課】

海上自衛隊創立 70 周年を記念した国際観艦式にあわせて、音楽イベントの開催を検討します。また、海上自衛隊、商工会議所と連携して国際レセプションを開催します。

⑥ よこすか海岸通りの活性化 3,566 千円

【経営企画部企画調整課】

横須賀の東海岸を通る魅力豊かなプロムナードに人が集い、楽しむことができる様々な仕掛けづくりを市民や民間事業者とともに検討を進めます。

その検討結果を踏まえ、にぎわいのある場所になるよう取り組んでいきます。

- プロムナードの活性化について検討する協議会の開催
- よこすかコーストパフォーマンスの通年開催
- 既存モニュメントをアートなどで再生するストリートキャンバスの実施

(4) スポーツによるにぎわいづくり

① (拡) プロスポーツチームとの連携 133,213 千円

【文化スポーツ観光部スポーツ振興課、商業振興課】

横須賀をホームタウンとする横浜DeNAベイスターズや横浜F・マリノスと連携した取り組みをさらに進めます。

- (新) ○ ベイスターズ秋季トレーニング期間を活用した地域イベント
 - 追浜地域のスポーツを活用した商店街事業補助金
(補助率 1/2 ソフト事業 上限 200 万円)
 - (拡) ○ (一社) F・マリノススポーツクラブが実施する久里浜地域の
にぎわいづくりおよび学校巡回スポーツキャラバンの実施などを助成
(企業版ふるさと納税を活用)
 - (新) ○ マリノスゆかりの学校給食メニューの提供
 - (新) ○ マリノス練習場へのアクセス道の電柱装飾・路面案内等の道路装飾
 - (拡) ○ 久里浜地域のスポーツを活用した商店街事業補助金
(補助率 1/2 ソフト事業 上限 200 万円 ハード事業 上限 1,000 万円)
-

② (拡) 横浜F・マリノスの練習拠点の整備 1,390,453 千円

【建設部(環境政策部)公園建設課、道路整備課(土木部道路建設課)】

スポーツによるまちの再興や地域経済の活性化を図るため、横浜F・マリノスの練習拠点を整備します。(令和4年10月一部供用開始)

また、練習拠点の開設により歩行者増加が見込まれるため歩道拡幅整備を行い、交通安全を確保します。

(拡) ○ 久里浜西口栄通りの歩道拡幅整備

③ (拡) はまゆう公園運動場の施設改修 205,391 千円

【建設部(環境政策部)公園建設課】

現代の多様化する利用者のニーズに対応するため、クレア舗装のグラウンドを人工芝にする改修工事を実施します。(令和5年4月供用開始)

④ (拡) アーバンスポーツ、eスポーツによるにぎわいづくり 55,032 千円

【文化スポーツ観光部企画課、観光課】

BMXフリースタイルジャパンカップの誘致や、eスポーツにおける市内高校の部活動支援および大会の開催などに取り組み、若者に人気のあるアーバンスポーツや、eスポーツの力を生かしたまちづくりを進めます。

○ BMX大会の誘致

(拡) ○ eスポーツの推進(多世代への普及)

⑤ マリンスポーツの振興 16,898 千円

【文化スポーツ観光部企画課、スポーツ振興課、観光課】

世界最高峰の大会であるウインドサーフィンワールドカップは新型コロナウイルスの影響により、2年続けて中止となりましたが、令和4年度は秋の開催に向けて準備を進めます。

また、体験機会の創出、ジュニア育成やマリンスポーツのまちにふさわしい環境整備を進め、幅広い世代にマリンスポーツの普及を図ります。

- ウインドサーフィンワールドカップの開催
- 全日本ウインドサーフィンフリースタイル大会の開催
- ナショナルチーム強化練習会・大学などの合宿誘致
- ジュニアアスリートの発掘・育成
- 市民スポーツ教室におけるウインドサーフィン教室の開催
- スポーツフェスタにおけるウインドサーフィン体験の実施
- マリンスポーツ（レジャー）の普及および民間事業者と連携したSUP体験などの実施

5 未来につなぐ環境の保全・創出

(1) 地球温暖化対策の推進

① (新) 市役所の脱炭素化の加速に向けた取り組み 21,007 千円

【環境部ゼロカーボン推進課（環境政策部環境企画課）、上下水道局総務課、浄水課】

横須賀市も民間企業と同じ事業所の一つとして、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すため、行政活動に伴う二酸化炭素排出量の削減を加速させる取り組みを実施します。

(新) ○ 公共施設への太陽光発電システム設置

令和4年度 10 施設（市立学校、行政センター、配水池）

(新) ○ 更新する公用車をEVに切り替え

令和4年度 5 台

② (拡) 市域全体の脱炭素化の支援 14,933 千円

【環境部ゼロカーボン推進課（環境政策部環境企画課）】

設備の購入や改修、EVの普及に対する支援策を強化し、市域全体の二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。

(拡) ○ 太陽光発電システム、窓の断熱改修などに対するポイント助成

(拡) ・太陽光発電システム 8,000 円分 → 16,000 円分

(拡) ・蓄電池 8,000 円分 → 12,000 円分

(新) ・窓の断熱改修（追加） 8,000 円分 など

(新) ○ EVカーシェアリングサービスの実施

・市役所裏に2台配置

・平日は公用車で使用し、休日は市民や観光客などに開放

○ 家庭用電気自動車等導入者奨励金（1台あたり5万円など）

○ 事業用電気自動車等購入者補助金（1台あたり20万円など）

③ (拡) ブルーカーボンの推進 1,297 千円

【経営企画部都市戦略課（環境政策部環境企画課）】

研究機関や市内企業などと連携して、藻類など海洋生態系による二酸化炭素の吸収量によって排出量を相殺する「ブルーカーボン」の取り組みを進めます。

- (拡) ○ 横須賀市ブルーカーボン推進協議会の設立
- (新) ○ 藻類の移植やモニタリング調査の実施
- (新) ○ 吸収量取引の実証実験

(2) 自然環境の保全・活用と循環型社会の推進

① (拡) 里山的環境の保全と活用 7,898 千円

【建設部（環境政策部）自然環境共生課】

里山の環境や景観を保全、再生し、人々が自然とふれあう場や環境教育・環境学習の場として活用します。

- (新) ○ 長坂緑地のトイレ整備（設計）

② (拡) 環境に対する意識の向上 1,336 千円

【環境部ゼロカーボン推進課（環境政策部環境企画課）、

建設部（環境政策部）自然環境共生課】

誰もが環境を「自分ごと」として考え、行動してもらえるように、環境に対する意識向上を図るため、身近な自然に触れあう機会づくりや情報発信を進めます。

- (拡) ○ 小学校での学区内自然環境体験
年間5校 → 10校
- (新) ○ ゼロカーボンアクションポイント事業
 - ・環境保護イベントなどへの参加者にポイントを付与

③ (拡) 家庭から排出される生ごみ減量化の推進 3,485 千円

【環境部環境政策課 (資源循環部資源循環政策課)】

焼却するごみを減らすため、家庭から排出される生ごみの減量化を推進します。

(拡) ○ 生ごみ減量化処理機器購入費の助成

非電動型生ごみ処理機 補助率 1/2→3/4

電動型生ごみ処理機 補助率 1/2